

2021年6月9日

横浜ゴム三重工場、新型コロナウイルスワクチン搬送車両用に タイヤ 40 本を寄贈

横浜ゴム三重工場は6月1日、地域社会貢献活動および新型コロナウイルス感染拡大に伴う医療支援の一環として、三重県に対し、乗用車用タイヤ40本を寄贈しました。寄贈したタイヤは、三重県の新型コロナウイルスワクチンを病院や保健所などの接種会場まで搬送する公用車に装着されます。

同日、自系列タイヤショップのタイヤガーデン伊勢において感謝状贈呈式が行われ、横浜ゴム三重工場長の犬塚貢と販売会社のヨコハマタイヤジャパン三重カンパニー社長の前田一昇が出席し、三重県知事より感謝状を授与されました。

今回のタイヤ寄贈に加え、従業員による社会貢献基金「YOKOHAMA まごころ基金[※]」からタイヤ交換費用を寄付しています。寄贈されたタイヤの交換作業は同日、ヨコハマタイヤジャパン三重カンパニーが実施しました。

横浜ゴムでは、今年2月に新中期経営計画「Yokohama Transformation 2023 (YX2023)」(ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニース)を策定しました。ESG経営においては「未来への思いやり」をスローガンとして掲げており、事業活動を通じた社会課題への貢献を進めていきます。

[※]寄付を希望する従業員の給与から毎月1口100円を天引きして積み立て環境保全や人権擁護などに取り組むNPO、NGOなどへの資金援助や災害への義援金として拠出することを目的に2016年5月に設立。



タイヤを寄贈する横浜ゴム三重工場長の犬塚貢と(左)
三重県医療保険部部長の加太竜一氏

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム(株)経営企画部 広報室 担当:岡
TEL:03-5400-4531 FAX:03-5400-4570